

講義名	日本史A			授業形態	
担当教員	藤原 喜美子	開講期・曜日・時間	後期 木曜日 1時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

テーマ：日本芸能文化史から見た日本史
 本講義の目的は、日本の歴史の中で「芸能文化史」に視点を置き、その特性を探ることにある。人々が神社や寺院で行事をおこなってきた過程において、日本の芸能文化史にも変遷が生じてきた。そこで、15回の講義のうち、前半は主に「神社」の行事、後半は主に「寺院」の行事を具体的に取り上げ、その特色を説明する。そして、日本の歴史の中に、その特性を位置付けながら講義を進める。

到達目標

学生が、講義の内容を理解した上で、日本の歴史の中で継承されてきた行事の特色を、自分の言葉で一つ説明できるようになる。

提出課題

講義では毎回、講義内容に関わる感想文などを記入し、小レポートとして提出してもらい、感想文のテーマは、講義ごとに伝える。小レポートとは別に、講義に関連した指定のテーマについて、学期末レポートの提出を求める。このレポート課題の詳細は別途、11月前半に、講義中の説明ならびにRUIKA portal「キャンパスクロス」の掲示を通して指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

毎回の講義に書いてもらう感想文やレポートの内容は、提出後に次の回の講義などで、日本の歴史の事例として紹介する。

評価の基準

評価は、平常点（各回の感想文などを記した15回分の小レポート、60点）、学期末レポート（40点）を総合して行う。評価の基準は、第1回の講義の時にシラバスの用紙を配付し、詳細を伝える。

履修にあたっての注意・助言他

- 予習として各自が調べた内容や講義中に大事だと思う箇所は、メモをとること。
- 講義開始時間に着席しておくこと。
- 講義中に私語をして、他の人の受講の妨げにならないように注意すること。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

<プリント資料>
 各回毎、プリント資料を配布する。プリント資料は無くならないように保存すること。
 <参考文献>
 講義中に適宜、紹介する。

授業計画

講義の進め方の詳細は、第1回の講義で説明する。

- 第1回 「日本史とは」 日本芸能文化史をどのようにとらえるか
 本講内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事項を1つ調べておく（120分）。
 復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第2回 「神祇の起源」 人々の信仰
 本講内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事項を1つ調べておく（120分）。
 復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第3回 「御霊会」 やすらい祭
 本講内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事項を1つ調べておく（120分）。
 復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第4回 「高座の成立」 宮庭と神事
 本講内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事項を1つ調べておく（120分）。
 復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第5回 「田楽」 御田掛祭
 本講内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事項を1つ調べておく（120分）。
 復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第6回 「田楽」 田楽の成立
 本講内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事項を1つ調べておく（120分）。
 復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第7回 「猿楽・能楽」 猿舞
 本講内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事項を1つ調べておく（120分）。
 復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第8回 「神楽」 神楽と地域
 本講内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事項を1つ調べておく（120分）。
 復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第9回 「伎楽の伝来」 伎楽と舞楽
 本講内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事項を1つ調べておく（120分）。
 復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第10回 「念仏の流行」 浄土教と人々の信仰
 本講内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事項を1つ調べておく（120分）。
 復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第11回 「寺院の法会」 修正会
 本講内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事項を1つ調べておく（120分）。
 復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第12回 「寺院の法会」 兵衛門の修正会と鬼
 本講内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事項を1つ調べておく（120分）。
 復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第13回 「寺院の法会」 大分県の修正会と鬼
 本講内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事項を1つ調べておく（120分）。
 復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第14回 「人形浄瑠璃」 人形浄瑠璃
 本講内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事項を1つ調べておく（120分）。
 復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。
- 第15回 「まとめ」 身近にある日本の歴史
 本講内容：授業計画に記してある講義テーマを確認し、各自が興味のある事項を1つ調べておく（120分）。
 復習内容：配布資料を読み、分からない言葉の意味を辞書で調べ、講義内容の要点を確認する（120分）。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

この授業は、全学共通科目の教養科目として、上記の主題と概要、到達目標の修得を通じて、本学のディプロマ・ポリシーのうち、特に次のような人材を育成することに貢献できる。
 (2) 知識を知識に転換することができる、論理的思考力を持った人材
 ・課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・調査、整理することができる（情報収集力）
 ・収集した個々の情報を多角的に分析し、現状を正確に把握することができる（情報分析力）
 ・現象や事象のなかに隠れている問題点やその要因を発見し、解決すべき課題を設定することができる（課題発見力）
 ・さまざまな条件・制約を考慮して、解決策を吟味・選択し、課題の解決に向けた道筋や取組みを明らかにした上で、具体化することができる（構想力）

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

この講義は、プリントを用いた講義の形式で進める。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり。講義担当者は民俗学（生活文化史）に関わる現地調査や文化財保護業務の実務経験を有しており、その実務経験を活用し、日本の歴史や地域の特性を紹介しながら講義を行う。

備考

（受講生へのメッセージ）
 現在の日本は、様々な時代の積み重ねで成り立っている。そのような多くの情報が蓄積された歴史の中で、この講義では神社や寺院の歴史にテーマをしぼり、そこで行われる年中行事（伝統芸能や民俗芸能）について考える。日本の様々な歴史の中から、一つの事例を深く掘り下げて考える機会にしていきたい。